

			2026年度		授業計画	
国際オートメカニク科						
時 期	1年前期	単元	実習	教科名	ブレーキ1	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車整備士（総合）		発行日	2026年3月22日
総時限	30時限（48時間）				教科担当	教科担当
単位数	1単位					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・ブレーキ装置の構造と作動の理解 ・ブレーキ装置の整備作業習熟						
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか）						
・整備士に求められる資質（整理・整頓・清掃）の必要性の理解と修得 ・安全を守る品質の徹底（自動車を使うすべての人への信頼） ・ブレーキ装置における整備作業の理解と修得 1. ディスク・ブレーキの整備作業を前提とした分解組立 2. ドラム・ブレーキの整備作業を前提とした分解組立 3. ブレーキ・フルードの交換実施と、作業内容の理解 4. ブレーキ装置の構造理解						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
実技試験（70点）、スピーチ（8点）レポート（9点）、ルーブリック（13点）の評価合計点が60点以上で教科履修とする。						
6. 学修時間と単位						
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業、および15～0時間の授業時間外学修（予習・復習・レポートなど）15～0時間である。						

授業計画

[illegible]

■：対面授業

2026年度

授業計画

国際オートメカニク科

時 期

1年前期

単元

実習

教科名

ブレーキ1

9. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
	ドラムブレーキの分解・組立 車両ジャッキアップ・ダウン	ドライバ各種、ラジオペンチなど先端の鋭利な工具を使用しない。 安全ゴーグルを着用する。 作業手袋の適切な使用を指導する パーキング・ブレーキの解除 輪止めの使用 ジャッキアップ・ポイントの周知徹底	スプリングのフックを規定の箇所固定するために、ドライバやラジオペンチなどで引っ掛けて力をかけたら、滑った拍子に、隣で見学していた学生の目に、先端部が突き、失明した。	

10. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室